

## 第1回JR川越線荒川橋りょうの複線化仕様での架換えに関する協議会概要

### －開催概要－

- 1 日 時 令和2年11月19日（木曜日） 10：00～11：00
- 2 場 所 埼玉県庁 庁議室
- 3 出席者 別添のとおり
- 4 議 事 架け換える橋りょうの複線化について
- 5 配布資料 荒川第二・三調節池整備事業の概要  
大宮駅グランドセントラルステーション化構想（本編、概要版）

### －議事概要－

- ・国土交通省から、荒川調節池事業の進捗状況と今後のスケジュールについて説明があった。
- ・沿線市であるさいたま市及び川越市からは、複線化は市民の期待も大きく、JR東日本に複線化の検討をお願いしたいとの意向が改めて示された。
- ・県からは、複線化はまちづくりの主体であり、複線化により直接の効果が生じる地元市の意向が重要であり、調節池整備事業の進捗を関係者と情報共有しながら、複線化の対応について検討していきたいとの考え方が示された。
- ・その後、さいたま市及び川越市から、今後のまちづくりの具体的な取組について説明があった。
- ・今あるまちづくりの計画を勘案しても複線化が必要な状況ではない一方で、将来、利用人員が増えたときには、複線化の検討の可能性はあるとのこれまでの鉄道事業者の見解に変わりがないことを協議会として確認した。
- ・仮に、今回の治水事業では現状の単線のまま架換えを行ったとしても、例えば、将来的に、もう1本単線の橋りょうを架けることで複線化することなども考えられ、将来の複線化に向け、必要があれば調査を行うことを確認した。
- ・調査内容等については、自治体を中心に、次回の協議会で検討すること、国土交通省、鉄道事業者からは必要な協力を得られることを確認した。

以上